



市長随筆



自慢できるふるさとを

この春、皆さんの自宅でも進学や就職などで故郷を離れ、一人暮らしを始めた子どもさんがおられるのではないのでしょうか。

同じように、天草を離れ、東京で活躍されている方々でつくられた「東京天草郷友会」の総会が4月13日に開かれ、私も出席しました。

今回は、「ふるさと納税」をお願いしたいと思つていましたが、逆に皆さんから「ふるさと納税で、ぜひ天草を応援したい」と言つていただき、大変ありがたく、感激しました。ほかにも、「天草はもつと元気を出して」「何か応援できることはないの」といっ

た励ましをいただきました。

演歌歌手の原田悠里さんも普段着で出席され、「天草の女」を披露されましたが、「天草捨てて生きれない」という歌詞の一節に、涙ぐむ人も。皆さんが故郷を大切に思われているということ、毎年この会に出席して実感しています。

天草の舵取りを任せていただき、3年目を迎えました。今回の総会に出席し、故郷を離れた皆さんが自慢できる天草づくりを一歩ずつ、着実に進めていかなければならないと、決意を新たにしました。

天草市長 安田 公寛

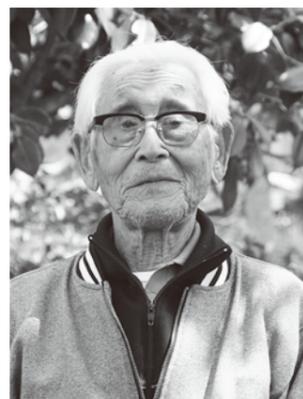
宝島の健康



大平 興さん (河浦町今富・89歳)

毎日の楽しみは？

家の近くの畑で、野菜や花などを育てており、これらの成長を見るのが楽しみ



の一つです。また、昔の楽しかったことや悲しかったできごとなどを思い出したり、テレビのニュースなどでいろいろな情報を得たりしながら、これからの生き方をあれこれ考えるのも楽しみですかね。

健康の秘訣は？

毎日、体を動かすことを心がけています。最近、めまいがすることがありますが、がまんできるぐらいのときは外に出て、畑の手入れなどを行っています。



平田りなさん (深海町・23歳)

牛深ハイヤ保存会「光彩会」に所属しています。メンバーは10代から80代までと幅広く、いろいろなイベントで牛深ハイヤ踊りを披露しています。

ハイヤを通して、いろいろな人と交流するのが楽しいです。来年の牛深ハイヤ祭りには、皆さん、踊りに来てくださいね。



元気いっぱいの「すみれぐみ」(5歳児)の皆さん

群れて遊び

共に育ち合う保育

もぐし保育園

牛深町にあるもぐし保育園(福岡得史園長・全園児69人)では、平成15年1月に環境マネジメントシステムの国際規格「ISO14001」の認証を取得。「地球を守ろう」を目標に、「ゴミのポイ捨てをしない子ども、自然を大切にできる子どもを育てるため、環

境教育に力を入れていきます。

また、「群れて遊び共に育ち合う保育」を目ざし、子ども自らが遊びを見つけて出し、子どもが生み出す「子ども文化」を大切にしたい保育を実施。自然の中で仲間と育ち合う生活を通して、自らの意志と力による体験で身につけた力を出し合い、遊びをつくりだせる、創造性豊かな子どもたちの育成に取り組んでいます。



創造性豊かな子どもたちに！



校舎の周りを清掃する児童たち

きらり輝く瀬戸っ子に！

瀬戸小学校

瀬戸小学校(澤村福重郎校長・全校児童186人)は今年、創立36年目を迎えます。

学校の自慢の一つは、2年前から始まった高学年生によるボランティア清掃活動。毎朝、校舎の周りを掃いたり、ゴミ拾いや草引きをしたりするなど、積極的に取り組んでいます。ほかの学年でも、自分たちの力で「学校をきれいにする」という気運が高まってきています。このような取り組みなどによって、平成19年度末の児童によるアンケートでは、学校が「好き」「楽しい」という結果が上位を占めました。

今後も、いつも笑顔で、夢(目標)を持って、何事にも自ら進んでチャレンジする「きらり輝く瀬戸っ子」を育成していきます。

心揺さぶる

教育活動を目ざって

御領小学校

御領小学校(西島英孝校長・全校児童126人)は、創立130年以上の伝統ある学校で、たくさんの花や木々などに囲まれています。また、小高い丘の上に立つ校舎からは、遠くは有明海や長崎県の雲仙まで見渡すことができます。

このようなすばらしい環境の中、本校は「心揺さぶる教育活動」に取り組んでいます。

普段の授業はもちろん、委員会活動や部活動、草花の植栽など、すべての活動を通して「自ら学び、正しく判断し、たくましく行動できる、人間性豊かな子ども」を育成できるように、日々努力しています。皆さん、応援してください。

ぼくのわたしの学校自慢



学習発表会で御領の昔話を発表